アッラーの道におけるジハード
2 ジハードの種類

(الجهاد في سبيل الله 2- أقسام الجهاد)

[日本語– Japanese – ياباني]

ムハンマド・イブラーヒーム・アッ＝トゥワイジュリー

翻訳 ：サイード佐藤

校閲 ：ファーティマ佐藤

2009 - 1430

islamhouse.com

(الجهاد في سبيل الله 2- أقسام الجهاد)

« باللغة اليابانية »

محمد بن إبراهيم التويجري

ترجمة: سعيد ساتو

مراجعة: فاطمة ساتو

2009 - 1430

islamhouse.com

２－ジハードの種類

● ジハードの種類には 4 つあります：

1－自分自身とのジハード：つまりイスラームを学んだり、その知識を実践したり、人をイスラームへといざなったり、またはそこにおける辛苦や害悪に辛抱することなどにおいて自分自身と戦うことです。

2－シャイターンとのジハード：シャイターンがアッラーのしもべに対して囁きかける欲望や疑念への誘惑に対抗することにおいて、努力奮闘することです。

3－不正者や宗教変革者、悪事に携わる者たちとのジハード：状況と福利を考慮し、可能ならば力でもって、それが叶わなければ舌でもって、そしてそれさえも叶わなければ心の内のみで彼らを阻止するようにします。

4－不信仰者や偽信者らとのジハード：心と舌、財産と生命でもって行われます - そしてこれがここでのテーマです。

● アッラーの道におけるムジャーヒド（ジハードに携わる者）の天国における位階：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「…天国には、アッラーがムジャーヒドのためにご用意なされた 100 の位階があるが、それぞれの位階の間は天地のそれほどの格差がある。ゆえにアッラーに願うのであれば、（天国における）フィルダウス（の位階）を願うのだ。それは天国の中心かつ最高位に位置しており、その上には最も慈悲深いお方の玉座が控えている。そして天国の河川はそこから湧き出てくるのだ。」（アル＝ブハーリーの伝承[1]）

● アッラーの道におけるジハードの状況：

アッラーの道におけるジハードには 4 つの状況があります：

1－不信仰者やシルクの徒とのジハード：これはムスリムを彼らの悪から守り、彼らの間にイスラームを広め、かつ彼らにイスラームへの改宗とジズヤ税、あるいは戦いを選択させるために必要なものです。

---

[1] サヒーフ・アル＝ブハーリー（2790）。

2－イスラームを棄教した者たちとのジハード：イスラームへの再改宗か、戦いかのいずれかを選択させます。[2]

3－謀叛者とのジハード：これはイスラーム法治国家の長に反旗を翻し、問題を誘発させようとする者たちとの戦いです。彼らが悔い改めない限り、戦うことになります。[3]

4－強盗らとのジハード：イスラーム法治国家の長は彼らを捕捉したら、その状況を考慮に入れつつ、彼らの死刑か磔刑、手足の交互切断刑、追放刑など、その罪に応じた刑罰を適用します。[4]

● 女性のジハードに関して：

女性は必要があれば男性と共に、奉仕のため出征することが出来ます。

アナス・ブン・マーリク（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）はウンム・スライムと、*アンサール*[5]の女性たちと共に出征しました。彼女らは飲み水を差し出したり、負傷者を手当てしたりしていました。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[6]）

● ジハードに出征する者たちを見送り、彼らのために祈願をし、また彼らの帰還の際には迎えに出ることが奨励されています。

---

[2] 訳者注：詳しくは「固定刑」の章の「⑨棄教」の項を参照のこと。

[3] 訳者注：詳しくは「固定刑」の章の「⑦謀叛者に対する固定刑」の項を参照のこと。

[4] 訳者注：詳しくは「固定刑」の章の「⑥強盗に対する固定刑」の項を参照のこと。

[5] 訳者注：「アンサール」とは、マッカからマディーナへと宗教迫害を逃れて移住した信仰者たちをマディーナで迎え入れ、財や住居などの物質的側面と精神的側面の両方から援助した信仰者たちのことです。

[6] サヒーフ・アル＝ブハーリー（3811)、サヒーフ・ムスリム（1810)。文章はムスリムのもの。